

## 令和3年度 赤阪小学校を改善していくための提案

※保護者の皆様より頂いたご意見についてお答えしたいと思います。ご意見につきましては、ほぼ原文通りの表現にさせていただいております。但し、個人が特定されると思われる内容については、記載を控えたり、変更させていただいたりしております。

また、ご提案にはご記名をお願いしていただきましたので、記名のあったものについて掲載させていただきます。無記名のご提案は掲載せず参考とさせていただきます。ご了承ください。(今年度は無記名のものはありませんでした。ご協力ありがとうございました。)

赤阪小学校長 當麻裕彦

### (一人一台タブレットの活用について)

■もう少し広く使えるようにしてはと感じます。自宅と学校でのオンライン授業がいつでもできるようになればよいのと思います。授業の復習や宿題でも持ち帰り使用するなど。

→<ご提案、ご意見に対して>

今年度から、一人一台のタブレットパソコンが導入され、本校では、新しい文房具として授業中の活用や持ち帰り日を設定するなどして、積極的な利活用を心がけてきました。授業ではすっかり定着して、子供たちが調べ学習や、教師からの配信課題、AIドリルなどを行っている姿は日常になっています。

臨時休校になった場合などのオンラインですが、以前の教育委員会の調査では、Wi-Fi 設備がないご家庭があり、設備のありなしで、教育に格差が生じることがあってはならないということで村教委としては、オンラインはしないという決定をしています。今後、一斉休業などになった場合などに備えて、オンラインのノウハウは備えておこうと思います。

### (教科書等の持ち帰りについて)

■以前テレビで「ランドセル症候群」というのを見ました。子どもが背負う荷物は体重の10~20%を超えない方がいいそうです。宿題はプリントも多いですし、必要なものだけ持ち帰るようにしたらいいのではと思います。次の日の時間割を合わせる事がなくなりますが、その日、持ち帰らないと行けないものをランドセルに入れるということで「時間割を合わせる」に置きかえられるんじゃないかと思います。

→<ご提案、ご意見に対して>

小学校では、この15年くらいで教科書は大きくなり、厚くなり、教科も増えました。また、プリントを利用した学習も多くなり、確かにランドセルは重くなっていると思います。

本読みや漢字学習に必要な国語、積み重ねの必要な算数などは持ち帰らせています。個人別のスタンドやロッカーなども利用して、学年にもよりますが、音楽科、道徳科、社会科、理科、外国語科などの教科書等は、教室に置いたままでもいいようにして学校としても負担が減るようにしています。ただ、感じ方はお子様の発達段階などにもよりますので、負担になる場合は担任にご相談頂けたらと思います。重い荷物は背中側に入れ、ランドセルのベルトを成長に合わせて調節するなどの対策は、WEB 上で紹介されていました。

## (ノートの使い方について)

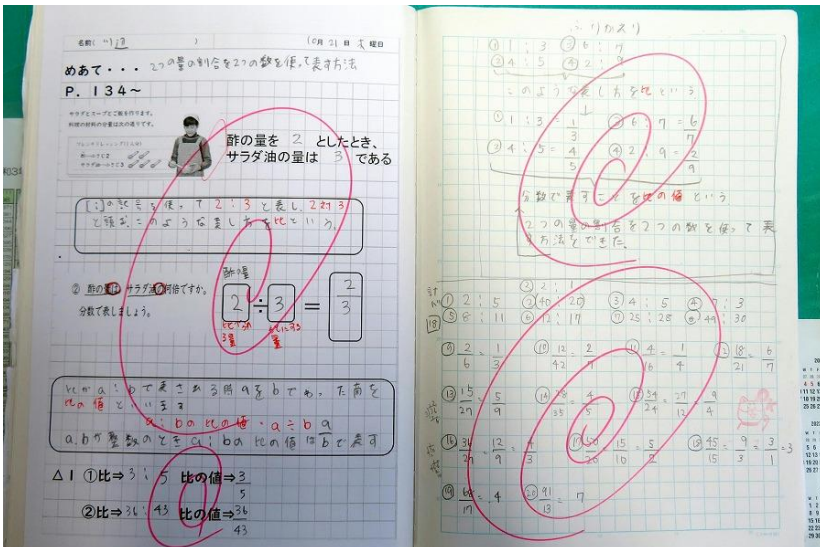
■ 常々気になっていたのですが、我が子だけかもしれませんが、ノートにプリントを貼っていることで気になるのが、片側にプリント1枚貼って、次のページが白紙というのがわりとあり、ノートの半分以上にプリントが貼られている。そんなにプリントを貼る必要があるのかなと思います。たぶん、重要な部分だから貼っているのだと思うのですが、ノートはプリントが貼られて厚みがあり、その多さもわかるのですが、プリントをさせて、別にノートに貼らなくてもいいんじゃないかと思います。(中略)そんなに重要なプリントならそれだけでファイルを使ってファイリングさせていったらいいのではと思うのは、なんかノートがもったいないなあと感じてしまったからです。たぶん重要なプリントだと思うのですが、せめて白紙のページは出さないようにするとか、折りたたんで貼るとか、ノートなのにページがプリントでうまっているのはなんかなあと感じてしまいます。

→<ご提案、ご意見に対して>

本校ではノートづくりは学力向上と相関関係があることも踏まえ、よくできたノートを掲示する「ピカイチノート」の取り組みなどノート指導の充実にも力を入れてきました。ご指摘は算数科のノートであると思います。算数科では、1時間の授業で見開き1ページを使うことを基本としています。ノートの左側には日付を書き、その授業の内容であるプリントを貼り、右のページには、問題に対しての自分の考え方・わかったこと・授業のまとめ・計算スペースとしての使用・ふりかえりを書くなどの使い方を基本としています。ただ、指導内容や授業の時間配分、子供たちの書く速さによって、どうしてもノートのページを活用しきれない場合も出てしまっています。下の写真がノート活用の基本形で、この良さは、何月何日の授業ではどのような内容を学習し、自分がどのように考え、大切なポイントは何かということ復習しやすくなりますし、わかりやすいノート作りができるということが学力向上にもつながります。

以前の算数の授業スタイルは、教師が黒板に問題を書き、児童もそれをノートに写して、自分の考え方や友達の考えをノートに書いて、わかったことや計算をするという活用が主流スタイルであったように思います。しかし現在の授業スタイルは、黒板は電子黒板を使用して問題を提示し、その同じ内容は、それぞれの子供たちのタブレットに配信されます。しかしタブレットは授業後消えてしまうため、その内容をノートに写す必要がありますが、時間短縮のためその内容のプリントをノートに貼ることを基本にしています。別ファイルにファイリングしてしまうと、プリントだけが綴られて、その日の授業との関連がわかりにくくなってしまいます。

余ったページには、計算練習するなど子供たちには言っているのですが、なかなか全ての子供たちがページを有効に使っているようにはなっていないことも事実です。1年間で何冊にもなる子供たちの手作り



ノートは子供たちの学習への手応えであり、学習の積み重ねの成果だと思っています。よりよいノート作りで学力向上につながるよう、今後もノート指導の充実や授業改善に努めてまいります。どうかご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

(めざすノートの例)

### (授業参観について)

■11月の土曜参観は、平日の参観に来られない保護者の方が来られると思うので、授業の参観もありですが、親子で楽しめる参観があればと思います。以前千早小吹台小学校のお母さんから、ミニ運動会して一緒に体を動かしたりお菓子作りをして一緒に食べたりしたよって聞いたことがあって、たのしいだろうなあって思ったので。

→<ご提案、ご意見に対して>

今年度から中学校の土曜参観と日を合わせる形で、本校では「学習発表会」、千早小吹台小学校では「音読発表会」として実施しています。通常の場合であれば、1年生から6年生までの学習発表を全員で鑑賞しますが、ここ2年は、1.3.5年生と2.4.6年生の入れ替え制にしたため、発表以外の時間を学習参観という形にしました。

千早小吹台小学校では、9月か10月の通常の学習参観終了後の時間を使って「学級PTA活動」として、ミニ運動会やお菓子作りなどそれぞれの学級PTAで企画された内容で実施されています。

ここ2年間は学習参観や学級懇談が通常の場合でしにくい状態が続きましたので、今後の通常の場合を検討するときに参考意見とさせていただきます。

### (学習発表会について)

■子供たちの劇の発表を観たいと思っています。私が小学生の頃は、学芸会があって発表しました。もちろん、音読、合唱、合奏もよいと思っています。子供たち自身で役割分担を決め、道具、衣装を準備し、セリフを覚える劇を見たいです。私の時代とは違って、劇にあてていただく時間が無いとはおもいますが。

→<ご提案、ご意見に対して>

自分が若いころの赴任校では「学芸会」があり、脚本作りから大道具、小道具、背景、衣装作りなども含めて取り組んだことを思い出しました。また、本校でも以前は、「あかさかフェスタ」として、子供たちの劇も内容にあったようです。

現行の新しい学習指導要領の実施では、「キャリア教育」「プログラミング教育」「ICT教育」「外国語教育」等々、学校でのカリキュラムが増えて、大道具づくりからセリフ覚え、役作りまでのたくさんの時間をつかっての取り組みは、なかなか難しいものになり、現在「学芸会」をしている学校は少なくなっています。

子供たちの思考力・判断力・表現力の育成は大切だと考えております。学習の中で、行事の中で、また、合唱や合奏の取り組みの中で育成に取り組んでまいります。

### (服装のことについて)

■スパッツ OK にして欲しいです。体育の時にタイツをはいてはいけないし、自分で調整しやすいと思います。

→<ご提案、ご意見に対して>

タイツに比べてスパッツの方が、体育の着替えの時や暑いときなどに脱ぎやすいということや、体育の時にタイツを脱いだ場合、別の靴下を用意しなくてもよいという利点もあろうかと思います。スパッツの長さや色など検討させていただき、次年度4月の「学校のきまり」では、可とする方向でご意見を反映させていただきます。

### (制服の使用について)

■お世話になっております。制服の使用について、学習発表会などは制服に統一していただきたいです。何のための制服なのかわかりません。

■卒業式の服装です。入学式は4月で少し温かくなってきている時期でもあり、新1年生は初めての制服なので、着ている子供がほとんどだと思います。卒業式は3月でも肌寒い日もあって、中には体調がすぐれない子供もいて長ズボン OK にしてもらっているのですが、小学校生活最後の日は、できるなら全員(卒業生)が赤阪小学校の制服を着て旅立って欲しいなと思いました。(今年の卒業式に)

→<ご提案、ご意見に対して>

昨年度の卒業式、今年度の学習発表会は、新型コロナウイルス感染拡大への対応として、窓を開けて、換気を積極的におこなっていたこともあり、体調によっては長ズボン可としておりました。卒業アルバム撮影の日は、標準服の着用をメール配信でも呼びかけ、そろった姿を撮影することができました。コロナ以前は、始業式、終業式、入学式、卒業式などの儀式的行事や発表の時は標準服着用を指導していましたが、この2年間は柔軟な対応をしてきました。

また、昨今はスカートをはきたくない子や半ズボンに抵抗を感じる子など多様な性や個性の尊重という観点からの配慮も求められる世の中になり、近隣の中学校でも制服の変更なども行われています。

標準服についての今後の検討課題とさせていただきます。